

Silk Central 15.5

リリースノート

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2014. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2014 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2014-07-16

目次

Silk Central 15.5 リリース ノート	4
Silk Central 15.5 の新機能	5
手動テストの強化	5
プロジェクトごとに複数の要件管理統合の設定	5
Git ソース管理プロファイル統合	5
複数のテスト実行のテスト結果の比較	5
表示中データの Excel 形式でのダウンロード	6
Silk Performer 結果のパーセントایل マーカー データの格納	6
フロントエンド サーバーの 64 ビット モードでの実行	6
Silk Central Connect の新機能	6
Silk Central プロジェクトで Silk Central Connect を使用する	6
クラウド ベースの実行サーバーを使って内部 Web アプリケーションをテストする	7
ユーザビリティ機能の強化	7
プロジェクトに連動したダッシュボード パネル	7
説明への画像のアップロードと挿入	7
テスト実行と実行計画の実行を削除するアクセス許可	7
単一選択リストから複数選択リストへの変換	7
レポート配信登録での Excel テンプレート添付ファイルの送信	7
テストと要件の割り当ての改善	7
ID によるグローバル検索	8
Issue Manager での作成した問題とのリンク	8
統合の強化	8
Team Foundation Server 2013 のサポート	8
Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2012 および 2013 のサポート	8
IBM Rational DOORS 9.5 のサポート	8
Bugzilla 4.4.2 のサポート	8
Bugzilla 統合での必須フィールドのサポート	8
使用技術の更新	9
サポートされなくなる機能	10
将来のリリースではサポートされなくなる機能について	11
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	12
システム要件と事前要件	14

Silk Central 15.5 リリースノート

バージョン 15.5

2014年5月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 15.5 の新機能

Silk Central 15.5 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

手動テストの強化

実行計画またはテスト サイクルのすべてのテストの更新

手動テストウィンドウが更新され、概要領域に実行計画またはテスト サイクルのすべてのテストが一覧されるようになりました。これにより、複数のテストのステータスをより効率的に更新できるようになりました。一方、手動テストウィンドウの下部にあるテストステップ領域で個々のテストステップを更新することも今までと同様に行えます。

失敗/未実行テストでのテスト サイクルの再実行

テスト サイクルを複製する際に、テスト割り当てをコピーする方法を選択できるようになりました。たとえば、**合格したテスト** をコピーしないように選択して、**失敗したテスト** と **未実行のテスト** だけを持つテスト サイクルを再実行することができます。

中間結果を保存したテスト担当者間でのテストの移動


手動テストをあるテスト担当者から他のテスト担当者へ移動するときに、中間結果が破棄されなくなりました。現在の、または他で実行中のテスト サイクルにテストを移動することができます。

実行計画でのテストの同期

選択した実行計画の **割り当て済みテスト** タブに、割り当て済みテストのリストを最新のテスト割り当てと同期を取るための機能が提供されました。

プロジェクトごとに複数の要件管理統合の設定

Silk Central プロジェクトごとに最大 5 個の要件管理ツールとの統合を設定できるようになりました。

 **重要:** Silk Central 15.0 以前のバージョンから現在のバージョンにアップグレードする前に、**すべて同期** を実行して統合した要件管理ツールとすべての要件の同期を取ってください。

Git ソース管理プロファイル統合

Silk Central は、新しいソース管理プロファイルプラグインとして Git をサポートするようになりました。

複数のテスト実行のテスト結果の比較

テスト結果 ビューは、完全なドリルダウン機能をもつ最適化された結果の概要を提供します。結果ファイル、スクリーンショットのサムネイル、メッセージ、スタックトレースなどのすべての情報が含まれます。これによって、とくに、複数の実行結果を横に並べて比較することができるため、失敗したテスト実行の根本原因をすばやく分析できます。

表示中データの Excel 形式でのダウンロード

表示されたテストを Excel シートにダウンロードできるようになりました。

この機能は、**ドキュメントビュー** と **グリッドビュー** で有効になります。**ドキュメントビュー** では、現在表示されているすべての行が含まれる Excel シートが生成されます。**グリッドビュー** では、表示されている行だけでなく、すべての行が含まれる Excel シートが生成されます。

Silk Performer 結果のパーセンタイル マーカー データの格納

Silk Performer 結果には、データベース (テーブル TM_PerfReportPercentileMarker) の多くの空間を消費するパーセンタイル マーカー データが大量に含まれています。以前のリリースでは、この情報は常にデータベースに格納されていたため、多くの Silk Performer テストがある場合に問題を起すことがありました。Silk Central 15.5 では、パーセンタイル マーカー データはデフォルトでは無効化されており、必要に応じて有効化することができます。

フロントエンド サーバーの 64 ビット モードでの実行

2 GB を超えるメモリを利用する場合は、このオプションを使用します。詳細な情報については、オンラインヘルプの「Silk Central サーバーのメモリ設定」を参照してください。



制限: 64 ビット モードでフロントエンド サーバーを実行している場合、次の統合には制約があります。

- IBM Rational ClearQuest
- IBM Rational RequisitePro

64 ビット モードでフロントエンド サーバーを実行している場合、次の統合には制約があります。

- Serena Version Manager (PVCS) : フロントエンド サーバー サービスをシステム アカウントではなく、ユーザー アカウントで実行する必要があります。
- UNC ソース管理 : 認証できません。

Silk Central Connect の新機能

Silk Central Connect 15.5 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

Silk Central プロジェクトで Silk Central Connect を使用する

Silk Central Connect の Silk4J プロジェクトが Silk Central プロジェクト内で使用できるようになりました。

Silk Central Connect と Silk Central の機能を兼ね備えます。Silk Central Connect プロジェクトですべての Silk Central の機能、すなわち要件、問題、属性、スケジュール、パラメータ、依存関係、通知などの機能を利用できます。

クラウド ベースの実行サーバーを使って内部 Web アプリケーションをテストする


クラウド ベースの実行サーバーを使って、イントラネット上の内部 Web アプリケーションをテストする場合は、ローカル イントラネット Web サイトのテスト用のトンネル設定を行うことができます。この設定を行うと、Silk Central アプリケーション サーバーはクラウド ベースの実行サーバーへのトンネルを開き、ローカル イントラネットの Web サイトのテストを可能にするためのプロキシとして動作します。このオプションは直接接続に比べて遅いため、必要な場合にのみ選択してください。

ユーザビリティ機能の強化

このセクションでは、Silk Central 全体で行われたユーザビリティ機能の強化の一覧を提供します。

プロジェクトに連動したダッシュボード パネル

プロジェクトごとに複数のパネルを追加するのではなく、現在アクティブなプロジェクトのデータを常に表示するようにダッシュボード パネルを設定できるようになりました。

パネルには特定のプロジェクトのデータのみが表示されるため、ほとんどの場合でパネルにプロジェクトを設定する必要があります。他のプロジェクトに対して適切なデータを並べて表示するためにいくつかのパネルを追加したり、パネルに対して **<現在のプロジェクトを使用する>** を設定して現在のアクティブ プロジェクトのデータを常に表示するようにできます。パネルのヘッダーにある  (設定) をクリックして、別のプロジェクトを設定します。異なるパネルの内容を表示または編集するには、特定のアクセス許可が必要になります。

説明への画像のアップロードと挿入

リンク画像の挿入に加えて、要件、テスト、テスト ステップの説明に画像をアップロード、および挿入できるようになりました。

テスト実行と実行計画の実行を削除するアクセス許可

テスト実行と実行結果の実行の削除に関する新しいアクセス許可が追加されました。テスト管理者 およびテスト担当者 ロールのユーザーは、デフォルトでこのアクセス許可が設定されています。

単一選択リストから複数選択リストへの変換

既存の単一選択リストを複数選択リストに変換できます。

レポート配信登録での Excel テンプレート添付ファイルの送信

レポート配信登録で、レポートを Excel テンプレートを添付した電子メールとして送信するよう設定できるようになりました。

テストと要件の割り当ての改善

テストの実行計画への割り当て、および要件のテストへの割り当ては、名前によるフィルタ機能と、要件 ノードを展開/折りたたみを行うためのコンテキスト メニューが追加されたことにより、さらに使いやすくなりました。

ID によるグローバル検索

Silk Central のグローバル検索機能において、すべてのサポートする資産全体の ID の検索もサポートするようになりました。

検索 フィールドを使用すると、Silk Central のいくつかの資産に対して検索を実行することができます。次の資産がグローバル検索を実行する際の対象となります。

- 要件とそのプロパティ
- テスト、フォルダ、テスト コンテナ、およびその属性値、プロパティ、パラメータ
- テスト ステップとそのプロパティ
- 実行計画、構成スイート、テスト サイクル、フォルダ、およびそのパラメータとキーワード
- ライブラリ フォルダ、ステップ、共有ステップ
- 問題 (テストに割り当てられた問題のみ)



注: 検索インデックスは定期的にバックグラウンドで更新されます。検索結果は若干古い場合があります。

Issue Manager での作成した問題とのリンク

Issue Manager で問題を作成するときに、その問題と既存の問題の間にリンクを作成するオプションが追加されました。

統合の強化

このセクションは、Silk Central で行った統合の強化の一覧を提供します。

Team Foundation Server 2013 のサポート

Silk Central15.5 は、Team Foundation Server 2013 をサポートするようになりました。

Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2012 および 2013 のサポート

Silk Central15.5 は、Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2012 および 2013 をサポートするようになりました。

IBM Rational DOORS 9.5 のサポート

Silk Central15.5 は、IBM Rational DOORS 9.5 をサポートするようになりました。

Bugzilla 4.4.2 のサポート

Silk Central15.5 が Bugzilla 4.4.2 をサポートするようになりました。

Bugzilla 統合での必須フィールドのサポート

Silk Central は、Bugzilla 問題追跡プロファイル統合での必須フィールドをサポートするようになりました。

使用技術の更新

Oracle 12c (バージョン 12.1.0.1.0) のサポート

Silk Central15.5 で Oracle 12c (バージョン 12.1.0.1.0) がサポートされるようになりました。

サポートされなくなる機能

このトピックでは、Silk Central 15.5 ではサポートされなくなる機能を示します。

Microsoft Visual SourceSafe (MSVSS)

Microsoft Visual SourceSafe (MSVSS) は、Silk Central 15.5 でサポートされなくなりました。

Concurrent Versions System (CVS)

Concurrent Versions System (CVS) は、Silk Central 15.5 でサポートされなくなりました。

古い要件 Web サービス

古い要件 Web サービスは、サポートされなくなりました。Requirements Web サービスは同等の機能を持っており、今後も定期的にメンテナンスされます。

将来のリリースではサポートされなくなる機能について

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Server 2003、IIS 6

将来のリリースでは、Microsoft Windows Server 2003、Microsoft Windows XP、および IIS 6 はサポートされなくなる予定です。

Oracle 10g

将来のリリースでは、Oracle 10g はサポートされなくなる予定です。

データ駆動型オプション

将来のリリースでは、異なる入力データを用いたテストを実行する機能が簡略化されます。異なるデータの行は **テスト** 領域で表示されなくなり、結果領域のみで表示されるようになります。失敗した単一データ行を再実行することは可能です。

リンクされたテスト コンテナ

将来のリリースでは、リンクされたテスト コンテナは削除されます。Silk Central におけるこの機能の主な目的は、Silk Test Classic 計画ファイルのインポートをサポートすることでしたが、テスト パッケージ機能を使用することによって、実行するたびに Silk Central のテスト構造が更新されるためメンテナンス作業を軽減することができ、より良く Silk Test Classic 計画ファイル テスト タイプをサポートすることができます。

混在した実行計画

将来のリリースでは、自動実行計画で 1 つの実行計画に自動テストと手動テストを混在させることはサポートされなくなります。手動テストと自動テストのより洗練された組み合わせは、依存関係によって実現可能です。

RequirementsDocumentsService Web サービス

将来のリリースでは、RequirementsDocumentsService Web サービス (/services/tmrequirementsdocuments) はサポートされなくなる予定です。代わりに、常時保守されている Requirements Web サービスを使用してください。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central15.5 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Windows Server 2003 R2 サービス パック 2
- Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Vista Ultimate 32 ビット (実行サーバー)
- Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10、11 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox

サポートする Web サーバー

- IIS 6 32 ビット/64 ビット
- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- Tomcat

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 1
- Oracle 10g (バージョン 10.2.0.5)
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.1.0)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- CaliberRM 10.1、10.2
- Caliber 11.0 (ホットフィックス 1 が必要)、11.1、11.2

- Silk Performer 10.0、15.0、15.5
- Silk Test 14.0、15.0、15.5
- StarTeam 13.1、14.1
- SilkTestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Bugzilla 4.0、4.4.2
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2010 SP1、Changepoint 2009、Changepoint 2009 SP2)
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS バージョン 9.4、9.5
- IBM Rational Requisite Pro 7.1.3、7.1.4
- Atlassian JIRA 5、6
- Atlassian JIRA Agile 6.1.4.2 (JIRA 5.2.8 ベース)
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2010、2012、2013
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Serena Version Manager (PVCS) 8.1.4 (Version Manager 8.1.4)
- Rally
- SAP Solution Manager 7.1
- Subversion 1.8.5
- Team Foundation Server 2010、2012、2013
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.1

サポートする Java


- Java Development Kit (JDK) 7 以降
- Java Runtime Environment (JRE) 7 以降

システム要件と事前要件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、または同等の CPU
メモリ	最低 4 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング・システム、 データベース管理システム、 Web サーバー	テスト済みおよびサポートされているソフトウェアを参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

 **注:** Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*Silk Central 15.5 インストール ヘルプ*』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象のアプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 1024 MB のメイン メモリが推奨されます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境（たとえば、VMware ESX Server）での実行がテストされています。最適なパフォーマンスのために、物理ハードウェアを使用することをお勧めします。